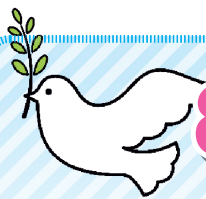


北九州市民の会ニュース



8月6日、核兵器廃絶を訴える

今日は、広島に原爆が投下されて78年の8月6日。14時から小倉駅前で、原爆写真パネルを持って、スピーチと署名活動。広島、長崎の現地に行っているいろんな集いに参加して学び、アピールするのもいいし、地元でアピールして核兵器廃絶を訴えることも大切。

小倉は陸軍小倉造兵廠があったので8月9日の原爆投下の第一目標でした。この地から核兵器廃絶を訴えることは、特別な、重い意味があると思います。

僕は従来から取り組まれてきたことを継承しつつも、世界の情勢やいろいろな知識を伝える取り組みも強めていかねばならないと感じています。

それにしても、今日も暑かった。この2～3日、身体がものすごくだるくて、調子悪かったです。それに午前中も活動していた方もおりまして、1時間の行動としました。



(竹内俊一さん FB より)

核兵器廃絶の緊急行動世界各国の政府に訴え

原水爆禁止世界大会 ヒロシマデー集会



広島に原爆が投下されてから78年となった6日、原水爆禁止2023年世界大会ヒロシマデー集会在広島市内で開かれました。すべての国の指導者に核兵器廃絶にむけた緊急の行動を訴える「広島からすべての国の政府への手紙」を採択。日本共産党の志位和夫委員長があいさつし、カナダ在住の広島被爆者、サーロー節子さんが訴えました。同日行われた広島市主催の平和記念式典では、松井一実市長が「世界中の指導者は、核抑止論は破綻しているということ直視し、私たちに厳しい現実から理想へと導くための具体的な取り組みを早急に始める必要がある」として、日本政府に一刻も早く核兵器禁止条約の締約国となるよう求めました。

禁止条約を力に

原水爆禁止世界大会・長崎 開会総会



(原水爆禁止2023年世界大会・長崎の開会総会)

「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を：人類と地球の未来のために」をテーマに、原水爆禁止2023年世界大会・長崎の開会総会が7日、長崎市で開かれました。世界の市民や政府代表、被爆者、反核平和団体の代表らが集まり、核なき世界の実現に向けた取り組みを報告。核兵器禁止条約を力に、核兵器廃絶に向けて連帯を広げようと呼びかけました。

高齢者補聴器購入助成制度の創設をめざして懇談



7月26日、平和とくらしを守る北九州市民の会は、高齢者の補聴器購入助成制度について年金者組合北九州協議会との懇談を行い8名が参加しました。

市民の会の石田康高代表委員から「第33回幹事会で当面する市民運動の具体化として、学校給食無償化、高齢者補聴器購入助成を実現するため幅広い運動を行うことを決め、その第一歩として、運動を具体化するための懇談をお願いしました」とのべました。

高齢者補聴器購入助成制度について①この2年間

で35から156自治体に急速に広がっている。②自治体における難聴高齢者の社会参加に向けた適切な補聴器利用とその効果に関する研究がすすめられている。③医師が自治体へ働きかけ、新潟県では全自治体で実施、などについて資料説明された。北九州市でも実現へ向けた取り組みを、各区での学習会や耳鼻咽喉科医師との懇談などすすめ、市への要請(署名)を強めることを呼びかけました。

北九社保協通信

報告・資料集 2023年7月号
7月31日 事務局発行

「学校給食を考える学習会」に参加 給食の在り方について活発な討論

7月8日(土)に黒崎コムシティ子どもの館に於いて「学校給食を考える学習会(第1回)」が開催されました。呼びかけ人は市内中学生の保護者で当日は、「学校調理員による現場からの報告」「市議による市の学校給食の現状とこれまでの歩み」「学校給食の無償化を実現した自治体から学んだこと」の報告をうけ意見交換をおこないました。会場には元教員や元議員、民主団体をはじめ子供さん連れの保護者の方々も多く参加されていました。食育法での地産・地消や無償化への運動も大切だが、学校給食を食育としてとらえ質の向上も同時にすすめていくこと、そして今後は「学校給食を考える会」として正式に発足することも合わせて確認をしました。参加された保護者の方からも熱心な発言があり充実した学習会となりました。



学習会で報告を行う各分野の皆さん

3年ぶりに「熱中症対策」について北九州市と懇談会実施



北九州市との懇談会の様子

7月20日(木)に北九州市と熱中症対策について懇談会を行いました。これは北九州健康友の会、健和会、北九社保協の3者で過去に毎年、実施していたものでコロナ禍で中断していましたが今回、3年ぶりの開催となりました。事前に質問・要望事項を申し入れ、その回答をうけて懇談に臨みました。健康友の会をはじめ15名が参加し、懇談では各項目に対する回答の説明を担当部局からそれぞれうけ意見交換を行いました。総じて行政側の前向きな取り組み姿勢はみえませんが、参加者からは活発な発言があり「あんしん通報システムの利便性向上」「テラス等を活用した熱中症予防の積極的広報と啓発」「まちなか避暑地の再開」などをあらためて要請しました。なお、気候変動適応法改正に伴い国の運用指針が発出されたのち2024年度施行に向け市として具体的な検討をおこなっていく予定との報告もあり計画策定後に再度、懇談のお願いもおこないました。

猛暑の中 いかんよ貧困福岡・北九州の宣伝行動を黒崎駅前

7月25日(火)に毎月、定例で市内各地で場所を変えながら実施している「いかんよ貧困・福岡」北九州の宣伝行動を黒崎駅前で行いました。当日は生健会・年金者組合・北九社保協から8名が参加。厳しい暑さの中、人通りも少なかったですが、マイクでの訴えに立ち止まって聞く方や話かけてくれる方と対話で盛り上がりました。北九社保協からも「長引くコロナ禍や物価高騰で生活が厳しい方はぜひ、ご相談を！」と「7.29 なんでも相談会」のビラを配布し、宣伝をおこないました。猛暑の中、参加者の体調も考慮し今回は早目に切り上げましたが、充実した宣伝行動となりました。次回、8月はお休みをして9月は定例の第4火曜日9月26日14時から小倉北区の且過市場で行う予定です。宣伝行動へのご支援、よろしくお願いたします。



暑い中参加した原告と支援者の皆さん

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL 093-592-5000 FAX 093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail: koe@siminnokai.com

